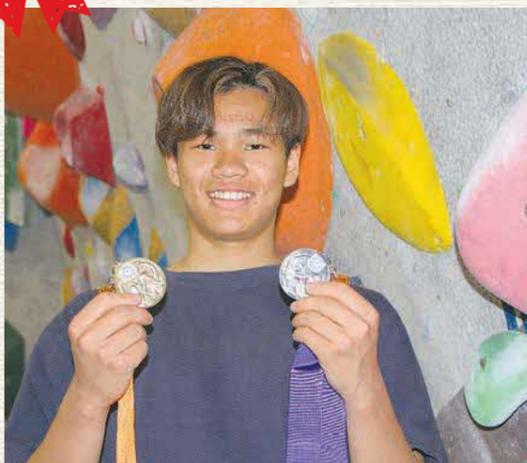


はつらつ
ところっこ

ひらり高みへ 世界へ羽ばたく15歳



スポーツクライミング選手
長森 晴さん (市内在住)

好きなものは、友だちとのバスケットボール、ヒップホップ、味噌ラーメン。プールよりも海派の15歳。身長175cmでまだ伸びるかも。
この春からは高校生。新しい環境に少し緊張しているそう。
写真は、5月の日本選手権で獲得したメダル。

memo
長森さんの詳細はこちらでチェック！




Instagram ▲ 所沢市ゆかりのアスリート

すらりとした手足を、ひらりと動かし、あっという間に壁を登っていく。まるで重さを感じさせないダンスのような軽やかさだ。けれどもよく見ると、指先から背中にかけてとふくらはぎの筋肉がパーツごとに浮き上がっていて、アスリートであることが分かる。さらに、手の爪がとても小さく、指紋が削られているのは、クライミング選手の特徴だ。

スポーツ好きな家庭に育ち、当時メジャーとは言えないクライミングを、習い事として9歳から始めた。

スポーツクライミングには、「リード」「ボルダリング」「スピード」の3種目がある。長森選手は、リード種目とボルダリング種目をメインに競技している。

リード種目では、12メートル以上の壁に設定されたコースを登り、到達高度を競う。選手は、ハーネスを装着し、ロープを支点にかけながら登っていく。「持久力」や「テクニック」が重要な要素だ。

一方、ボルダリング種目は5メートルの壁に、複数のコース(課題)があり、制限時間内にどれだけ多くのコースを登れたかを競う。安全器具は地面の衝撃吸収マットのみで、選手はしばしば落下を経験する。他の選手の動きを見つつ、コースの「見極め」や「戦略」を立てる

必要がある。

2020年、11歳で初めてユース大会に出場以後、いろいろな大会で経験を積んできた。5月に開催された岩手県での日本選手権では、リード種目で優勝、ボルダリング種目で準優勝に輝いている。世界大会でも強さを見せつけ、昨年開催されたIFSC世界ユース選手権、IFSCアジアユース選手権において、リード種目とボルダリング種目の両方で入賞している。

ボルダリング種目とリード種目、どちらか一方を得意とする選手が多いなか、長森選手は二刀流で邁進している。「自分が知っている範囲では、自分と同じレベルの二刀流の選手は数人しかいない」とのこと。

この春から高校に進学した。平日は学校とトレーニング、週末は学校の課題とトレーニング。忙しくも充実した毎日を送っている。大学進学、ユース卒業、大学卒業のタイミングで競技としてのクライミングから引退する選手が多いそう。「競技選手を長く続けるのは意外と難しいんですよ」と話すなかで、ロサンゼルス五輪出場、シニアへの移行も視野に入ってきている。

「ラーメン屋の看板は目に入れないように歩いている」「ぼてちは何年も食べてない」と少しはにかんで話す様子は、どこにでもいる高校生。けれども、世界トップレベルの舞台で戦う青年は、自分のこと、競技のこと、これからのことを冷静に見据えているのだろう。静かな闘志とともに、困難な状況もひらりと、乗り越えていくに違いない。(取材：上地)

今月のプレゼントクイズ!

弁当・惣菜・本格和食♪ひと味違うプロの味を食卓に。
フグの唐揚げ3個入り (1,050円相当×20人)



▶カリッと揚がったフグの唐揚げ。珍しいフグのお惣菜も!

おいしいような総菜がお店にたくさん並んでいます♪種類が多くて迷ってしまうほど。ボリューム満点のお弁当も充実していて、忙しい毎日の強い味方です。店長さんが腕を振るうフグ料理やオードブルは予約できるので、お祝いやホームパーティーにもピッタリです!

● Side Dish
元町8-16
☎04-2941-2929
(午前11時~午後8時 / 不定休)

▶詳細は店舗 Instagram をご覧ください。



◆今月のクイズ

9・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると?

◆応募方法 (7月10日(水)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦7月号の感想を記入し、〒359-8501 広報課 (住所不要) に郵送・市庁 (Qプレゼント) で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市庁

読者感想文

- 自主避難が難しい方向けの個別避難計画があることを初めて知りました。良い試みで、今後、ヘルプマークのように普及し、誰もが「どんなものか」、「何のためにあるのか」がわかっていけると地域で誰もが暮らしやすくなっていくと共感しました (久米・30代)
- 雨の時期がくる前に、洪水ハザードマップの存在や各種備えを知ることができてよかったです。自分でできる備えをしっかりと意識するきっかけになりました (東町・20代)
- 編集から●梅雨の時期にあわせての風水害特集でした。季節によって備えるものも変わります。定期的な確認が有効ですね

- 算数のびのび塾を広報で初めて知りました。教えてもらう側も、教える側も、双方にとって非常に良い取り組みだと思いました (上安松・40代)
- 編集から●「できた」「分かった」時の子どもたちの笑顔は輝いています。いつもとは違った場所での勉強も良いものです
- はつらつところこの西田杏ちゃんは、娘の高校の同級生…頑張ると家族で応援します。紙面の素敵な笑顔がいいですね (荒幡・50代)
- 編集から●いよいよオリンピック・パラリンピックが近づいてきました。所沢ゆかりのアスリートを応援しましょう

編集後記

● 本号は世界で活躍する所沢市ゆかりのアスリートを集めました。前号でパラ水泳の西田杏選手取材の際に、語り口調はおだやかで冷静な印象を受けたのですが、言葉の節々に内に秘めたとてつもない情熱を感じました。そこから本号の表紙を冷静さと情熱が入り混じるイメージ (青と赤) で作成してみました。アスリートたちの魅力を紙面から少しでも感じ取っていただけたら嬉しいです! (深町)

● 筋力の低下を感じています。半信半疑はいつしか確信に。そして焦燥感へ変わりつつあります。長森選手のクライミングを見て、自分の体を自分で支えるということ振り返る機会になりました(上地)

● 本号には年代問わず楽しめる夏のイベントが盛りだくさん。7面の野老澤行灯廊下では、神明社に並ぶ幻想的な行灯が暑さを忘れさせてくれます。元気に「所沢の夏」を満喫しましょう! (齋藤)